

砂山遊び



園庭の砂場の砂を増やしてみました✩そしたら多すぎて溢れてしまいました。



「この砂さ。多すぎる方ちょっとちょうだい」とプレイハウスの隅に秘密基地ができました。



覗くと、自分の体が入るくらいの穴を3人で掘って、「お風呂作ってるの」と✩



別の子は、段ボールを持ってきて、平らにならしています。「何するの?」と尋ねると、「考え中。」と。



その横で、ダンボールで砂山から滑る遊びが始まりました。



一生懸命園庭に砂をまいて、園庭を整備する大人の手伝いをする子も出てきました。





山を切り崩しては、園庭に運びます。



コンピカーを「トラック」とよび、運送業者さんも活動を始めました。車の車輪で圧をかけ、丁寧に園庭をならします。



まだまだ大きい砂山です。よじ登っては、転がり落ちて楽しむ子もいます。



ダンボール滑りが2歳さんに人気となります。



ダンボールが動いてしまうので、大人が抑えています。



横では、山を崩そうと一生懸命掘っている子もいます。



やっと頂上に登った0歳児さん。滑ることはできませんでした。怖くて。



そこへ、園外散歩から帰ってきた幼児クラスのお友達。一気に砂山へ駆け上がります。



2歳児さんが残した段ボールをちぎったりしながら、砂山滑りが豪快にスタートしました。



ですがダンボールがなかなか滑りが悪く、どうしたら良く滑るのかを考え始めました。



ビニールを持ってきました。



しかし、ビニールもあまり滑りません。。



誰がやってもあまり滑りません。



横になって滑ってみました。ん～。あまり滑りは変わらないようです。



立って滑ってみたところ、1番滑りが良かったようです。



サーファーのように🏄。波ではなく、ダンボールで砂の凸凹を足裏でかんじながら。



正座は予想通り滑りませんでした。



当然転びます。。痛くはないようで、何回も挑戦!!



繰り返すたびに上手に滑れる回数が増えていきました。



パドリングまで始まり、本格的なサーファーが登場です。



熱中して、立ち滑りをあみ出した2人に年長さんが加わり、芝滑りスタイルに挑戦が切り替わりました。

職員

2024年11月13日（水）



シンプルイズベスト。1番滑るようです。



なーんだ、これで良かったかも。。でも色々考えて
やってみて楽しかったな～